

(HP用原稿)

令和7年度 花木中間検討会を開催しました

○実施日 8月18日(月)

○場 所 上松町・大桑村 花木栽培ほ場

○内 容

令和5年度から当支援センターでは、農業の担い手不足や野生鳥獣害による農地の遊休荒廃地化などの対策として、女性や高齢農業者でも取り組みやすい省力的で軽量の品目、比較的野生鳥獣の被害を受けにくい品目としてケイオウザクラ(啓翁桜)を始めとした花木の生産拡大を進めています。



写真1 オータムハイドラングアの雨除けによる花やけ対策の検討

昨年度からは花木生産者、JA、町村、農業技術課専門技術員、野菜花き試験場、農業農村支援センターの関係者が集まり、生産振興を図っていく上での現状の把握と課題の検討を行うため、夏場に現地検討会を開催しています。



写真2 アメリカテマリシモツケの倒伏防止対策の検討

今年度は8月18日に上松町と大桑村の各ほ場で、アジサイの仲間のオータムハイドラングアの花やけ対策、葉物花木のアメリカテマリシモツケの倒伏防止対策、ふかし（促成栽培）による冬出荷のケイオウザクラの高木化対策など、3品目について各栽培ほ場での栽培状況や課題と対策について検討を行いました。



写真3 ケイオウザクラの高木化対策の検討

当日は、生産農家、JAと町村、専門技術員、試験場、当センターの関係者20名ほどが集まり、それぞれの立場からの話や意見、アドバイスが出され、栽培拡大に向けての方針や栽培のポイントを確認する上で大変参考になる検討会となり、今後の花木のさらなる生産拡大が期待されます。